令和7年5月19日

総務大臣 村上 誠一郎 殿

BTV株式会社
代表取締役 江夏 拓三

事後評価報告書（小林市）
（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日 : 令和4年3月3日
(2) サービス開始日 : 令和4年4月1日

2. 目標達成状況（累計）

指 標	目 標 (目標年度)	(実績値/目標値)				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
公共施設 Wi-Fi の設置数	5 台 (令和4年度)	0/5	【参考】 0/5	【参考】 0/5	【参考】 - /5	【参考】 - /5
家庭用 Wi-Fi の設置数	1,400 台 (令和7年度)	344/350	819/700	1,169/1,050	- /1,400	【参考】 - /1,400

(参考)

提供可能回線数	利用回線数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
2,170 回線	344	819	1,169	-	-

3. 目標達成に向けて実施した取組

【公共施設 Wi-Fi】

◇予定設置個所の設置に向けて自治体及び設置個所の管理者と協議を実施

【家庭用 Wi-Fi】

◇区長会に参加し、光サービスの開始の説明を実施

(新型コロナウイルス感染症の拡大影響による機器不足の状況)

◇加入促進のチラシを折り込みにて配布 (令和7年3月)

4. 評価

【公共施設 Wi-Fi】

◇令和6年度末 実績 0台

予定箇所の Wi-Fi 設置に向けて自治体、現地管理者と協議を続けてきたが、計画に基づく設置完了まではいたらなかった。だが令和6年度末の時点で予算、施工内容についての協議がほぼ合意出来たので、令和7年度の設置工事について日程等の調整に入っている。

【家庭用 Wi-Fi】

◇令和4年度 実績 344台

当該年度は構築初年度であり、また、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響下の中、営業及び設置工事が厳しい状況ではあったが、令和4年度の目標設置台数 350 台を概ね達成する事ができた。

◇令和5年度 実績 819台

世界的な半導体不足のため最終端末機器が不足し、入荷制限の影響から設置工事の件数を制限せざるを得ない状況ではあったが、令和5年度の目標設置台数 700 台を超える設置が出来た。

◇令和6年度 実績 1,169台

新型コロナウイルス感染症の蔓延と端末機器の入荷不足などがある程度緩和された状況の中、順調に営業活動を行える状況となり、令和6年度の目標設置台数 1,050 台を超える設置が出来た。

【利用回線】

◇利用回線は1,169回線(53%)と緩やかに増加傾向であり、引き続き、加入促進の取り組みに注力して利用回線の向上に努める。

5. 課題への対応策（中間評価のみ）

【公共施設 Wi-Fi】

◇令和4年度より自治体及び現場管理者と協議を続けてきた Wi-Fi 設置予定箇所について令和7年度の施工で調整が整った。令和7年度中に当初予定していた5か所（5台）の Wi-Fi 設置工事を完了させる。

【家庭用 Wi-Fi】

◇3か月毎のキャンペーンの実施、既存加入者へのテレマーケティングやダイレクトメール等を活用し、家庭用 Wi-Fi 設置の勧奨に努める。

引き続き、家庭用 Wi-Fi の開設に努める。

【利用回線】

◇引き続き、加入促進に努め、利用回線の向上に努める。